

商品情報をはじめ、OCLC に関する様々な情報をご案内致します。

●Topics●

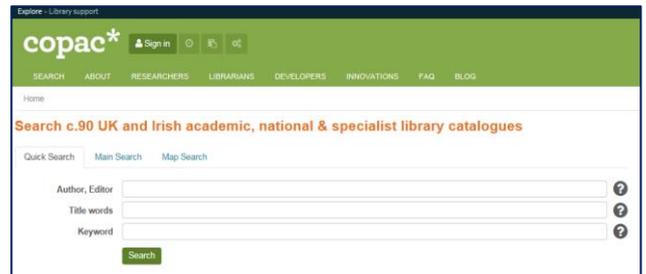
OCLC と Jisc がパートナーシップを締結しました！



2月2日、英国 [Jisc](#) は、図書館におけるコレクション管理と学生/研究者による資料の発見を支援すべく、学術資料の書誌データを大規模に収集するための新しい共同サービスの開発契約を、OCLC と締結したと発表しました。

現在、英国内約 90 機関が参加する共同目録 [Copac](#) を運営している Jisc は、[英国研究図書館コンソーシアム \(RLUK\)](#)、[英国国立・大学図書館協会 \(SCONUL\)](#)、[大英図書館](#)とともに [National Monograph Strategy プロジェクト](#) を立ち上げ、Copac に代わる共同ナレッジベース

National Bibliographic Knowledgebase (NBK) を構築していくことを決定していました。今回、共同開発を受託した OCLC は、既にドイツ、フランス、オランダ等で稼働している総合目録データベースパッケージ CBS の技術をベースに NBK を開発していきます。



Jisc は、現在の Copac の規模では学習や研究支援には不十分と考えており、新しく構築される NBK は大学図書館だけでなく専門図書館や研究所、政府機関等の様々な図書館のより多くのデータを取り込むことにより、Copac の性能を越えることを目指しています。最終的には英国の 250 機関が参加する予定です。

新しいサービスでは、冊子だけでなく電子資料も一括して管理し、コレクションの管理方法や利用者の資料へのアクセス方法が変わることが期待されます。Jisc のニール・グリンドリー資料発見部長は「この意欲的なパートナーシップは、英国における全国版電子図書館を構築するための大きな一歩です。」とコメントしています。大英図書館のコレクション・メタデータ部長ニール・ウィルソン氏は、「新しい技術、質のよいメタデータ、図書館コミュニティの知見、この3つを組み合わせるとよいものを作ろうという NBK の試みは、大英図書館の協同戦略と完璧に合致しています。」と述べています。

国内で大きな影響力のある共同目録が OCLC とパートナーシップを締結したことには、大きな可能性が秘められています。その国や地域に根付いたシステムに OCLC が協力することにより、国内向けサービスの充実だけでなく、その国の図書館の国際化にも大きく貢献することが期待されます。 [当記事の詳細はこちらから》](#)



●世界での取り組み紹介●

NPR、本の紹介サイトに WorldCat.org のリンクが追加されました。

米国の非営利・公共ラジオネットワーク [NPR \(National Public Radio\)](#) では、2014 年よりおすすめの本を紹介する NPR Book Concierge というサイトを開設し、毎年更新しています。ここで紹介される 250 冊は、ポップアップで書影やレビューが表示されるほか、SNS でのシェア、Amazon や





iBooks への移動も簡単に行うことができましたが、このたび、この機能に WorldCat.org へのリンクが追加されました。このことについてアプリケーション開発者デビッド・イズ氏は、「WorldCat Search API を使うことで簡単に開発できました。NPR には ISBN のデータしかなかったのですが、API で OCLC 番号との照合を行い、あとは WorldCat.org へのリンクを貼るだけでした。これにより利用者は、NPR Book Concierge で見つけた本が近隣の図書館に所蔵されている

のか、WorldCat を通して簡単に調べることができるようになりました。」と述べています。

[当記事の詳細はこちらから》](#)

●OCLC システム紹介●

Tipasa

1月17日、OCLCはILLの管理システム [Tipasa](#) を公開しました。Tipasa は、WorldShare の技術基盤の上に開発されたもので、利用者による ILL リクエストを自動で管理できるシステムです。これまで利用者向け ILL システムとして提供されていた OCLC [ILLiad](#)(現在日本では提供されていません)の機能を再構築し、クラウドサービスに移行しました。アップデートや機能強化が自動で行われるため、ネットワーク環境さえあればすぐに稼働することができます。シンプルなインターフェースは、図書館スタッフをはじめボランティアや学生アシスタントにとって使いやすいものになっています。

OCLC 製品開発担当副社長メアリー・サウアー・ゲームズは「私たちがこのプロジェクトを3月に発表して以来、ユーザーコミュニティからたくさんの反応がありました。彼らの協力がなければこんなに早く公開することはできなかったでしょう。」と感謝の意を述べています。利用者向け Tipasa と、図書館業務ツール WorldShare Interlibrary Loan が WorldShare プラットフォーム上で補完し合うことで、さらなるサービスの進化が期待されます。[当記事の詳細はこちらから》](#)

With Tipasa, you can:

 Enable patrons to place and monitor requests	 Gain efficiency in ILL workflows	 Deliver documents easily and securely
 Manage copyright	 Save money and consolidate management of ILL fees	 Illustrate value of ILL services
 Take advantage of a centralized library services platform		

掲載の商品・サービスに関するお申し込み・お問い合わせは…

株式会社紀伊國屋書店 OCLC センター [\[http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/\]](http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/)

電話:03-6910-0516 ファクス:03-6420-1359 e-mail:oclc@kinokuniya.co.jp までお願い致します。

お預かりした個人情報、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り取り扱わせて頂きます。